

高等学校 令和 6 年度 （ 2 学年用）

教 科 ： 家庭 科 目 ： 家庭総合

単 位 数 ： 2 単位

対 象 学 年 組 ： 第 2 学年

教 科 担 当 者 ： （ 1 ～ 7 組：山田友美・杉山亜希子）

使用教科書：家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍）

教科の目標： 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
1 学 期	1 単元名 単元 1 衣生活						
	【知識及び技能】 ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な技能を身に付けることができる。	【指導項目・内容】 ・被服の材料 ・被服の入手 ・被服の管理 ・被服製作 ・衣生活をとりにくく課題	【思考力、判断力、表現力等】 被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な技能を身に付けようとしている。	○	○	○	30
	【学びに向かう力、人間性等】 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装や日本の食文化の継承・創造について考察し、工夫することができる。		【学びに向かう力、人間性等】 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装や日本の食文化の継承・創造について考察し、工夫しようとしている。				
2 学 期	1 単元名 単元 2 食生活						
	【知識及び技能】 食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など、食と人との関わりについて理解できる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など、食と人との関わりについて理解しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けることができる。	【指導項目・内容】 ・食品の選択と安全 ・調理の基礎 ・調理実習 ・食生活の文化と知恵 ・食生活をとりにくく課題	【思考力、判断力、表現力等】 おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けようとしている。	○	○	○	30
	【学びに向かう力、人間性等】 主体的に食生活を営むことができるよう健康及び環境に配慮した食事、日本の食文化について考察し、工夫することができる。		【学びに向かう力、人間性等】 主体的に食生活を営むことができるよう健康及び環境に配慮した食事、日本の食文化について考察し、工夫しようとしている。				
3 学 期	1 単元名 単元 3 保育						
	【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子育て支援について理解を深める。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子育て支援について理解を深めようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 保育の重要性について考え、親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察できる。	【指導項目・内容】 ・命の誕生 ・子供の育つ力 ・子供の遊び ・子供の生活と保育 ・保育環境と現代の課題	【思考力、判断力、表現力等】 保育の重要性について考え、親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察しようとしている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 子供との関わりと保育・福祉について、課題解決について主体的に取り組んだり、振り返って改善したりすることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 子供との関わりと保育・福祉について、課題解決について主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。				